

して大型マンションとの合同防災訓練を実現することができました。

②給水ステーションの設置に伴う応急給水訓練の実施

当会のエリアには東京都水道局の板橋給水所（給水量26,600m³）があります。この給水所の分画化に伴い「災害時応急給水ステーション」が設置されています。住民防災訓練に合わせて給水手順などの確認をかねて応急給水訓練も実施しています。



応急給水訓練の様相

③「法人連絡会」による地域の関係づくり

当会には20余りの法人事業所があります。毎年「法人連絡会」を開催しています。防災訓練・防災講話・法人の事業所訪問紹介、時には地域内地下の下水道トンネル工事見学など企画し、加賀エリアの共通の課題やテーマについて意見交換の場となっています。このようにイザという時にも連絡とりあえるような法人同士の関係づくりも当会が主催して担っております。



法人連絡会「加賀の防災検討会」模様

④当会記念誌をきっかけに「加賀防災マップ」の合同企画作成発行配布

当時（令和4年）の板橋消防団第一分団長から当会で令和元年に発刊した「創立70周年記念誌」に掲載されていた「加賀マップ」をベースに、「加賀防災マップ」を作成できないかとの相談がありました。何か月か入念に時間をかけ、裏面には防災情報も織り込んで「加賀防災マップ」を作成発行しました。これらは防災という観点から当会員以外に加賀地区の住民や事業所にも4,000部を配布しました。これも東京都の「町会・自治会による防災対策普及啓発事業助成金」を活用しました。日常生活や散策時などに使ってもらえるようにイラストタイプにして工夫もしました。



身近に使えるイラストタイプの「加賀防災マップ」

3 今後の防災への取り組みについて

今後「加賀まちづくり協議会」とも連携して、従来のマンション住民法人事業所単位の防災対策から、また昼夜の人口差（昼の人口が夜の5倍）が大きいなど昼の防災対策など含めた総合的な「加賀防災エリアマネジメント」の構築を進めていきたいと考えています。それにより加賀エリアとしての地域の資源を活かした更なる地域防災力の充実を図っていきけるのではと思っています。